

授業科目名： スポーツ社会学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 海老島 均
			担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) スポーツ文化の概念及び近代スポーツの成立と展開の様相について説明できる。</p> <p>(2) 現代スポーツと社会や文化との関係性について例を挙げて説明できる。</p> <p>(3) 現代スポーツで生じている問題の社会・文化的背景について例を挙げて説明できる。</p>			
授業の概要			
<p>現代のスポーツは、単なる個人的な営みをはるかに超えて、社会とのつながりを強く持つようになってきた。本授業では、スポーツの社会的意味や現在話題になっているスポーツ現象を中心に、わかりやすく、するスポーツ、みるスポーツ、支えるスポーツについて説明していく。また、スポーツをめぐる様々な問題点を通して、スポーツと社会の関連を捉え、文化の視点から考察していく。</p>			
授業計画			
<p>第1回：近代スポーツの成立と展開  第2回：文化としてのスポーツ  第3回：日本のスポーツ文化  第4回：グローバル化するスポーツ  第5回：アダプテッドスポーツ  第6回：スポーツとジェンダー  第7回：スポーツと教育  第8回：スポーツと社会化  第9回：スポーツ・ファンの文化  第10回：スポーツ・フォー・オール  第11回：スポーツと地域社会  第12回：職業としてのスポーツ  第13回：スポーツと政治・権力  第14回：スポーツとドーピング  第15回：スポーツとナショナリズム  科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
テキスト			
井上 俊・菊 幸一編著（2020）『よくわかるスポーツ文化論（改訂版）』ミネルヴァ書房、978-4623088393			
参考書・参考資料等			
清水諭ほか編著（2023）『現代社会におけるスポーツと体育のプロモーション』大修館書店、978-4469266139 他は必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価			
レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			